



2021年5月11日

各 位

会社名 蝶理株式会社
 代表者名 代表取締役社長 先濱 一夫
 (コード: 8014 東証第1部)
 問合せ先 経営管理部長 河村 泰孝
 (TEL. 03-5781-6201)

2021年3月期通期業績予想と実績値の差異及び貸倒引当金繰入額の追加計上に関するお知らせ

2021年2月8日に公表しました2021年3月期通期業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたので、お知らせします。

記

1. 業績予想との差異

(1) 2021年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年2月8日公表)	百万円 210,000	百万円 6,000	百万円 6,400	百万円 3,000	円 銭 122.02
今回実績 (B)	216,233	3,663	4,656	1,247	50.73
増減額 (B-A)	6,233	△2,336	△1,743	△1,752	
増減率 (%)	3.0	△38.9	△27.2	△58.4	
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	329,360	8,219	8,685	6,101	248.46

(注) 当事業年度の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日公表分)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日公表分)を適用しております。

(2) 差異の理由

2021年3月期通期実績値につきましては、売上高は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響を受けたものの第3四半期より回復し堅調に推移したことで2021年2月8日の前回発表予想を上回りました。利益面では、売上高の堅調な推移や管理可能経費の削減を進めたことで本業の収益力は回復しましたが、「2. 貸倒引当金繰入額の追加計上」に記載のとおり、2021年3月期第4四半期において2,708百万円の貸倒引当金繰入額を販売費及び一般管理費に追加計上しました結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回りました。

2. 貸倒引当金繰入額の追加計上

(1) 概要

中国の化学品製造会社である江陰澄高包装材料有限公司(以下、「澄高包装」といいます。)及び江蘇澄星

磷化工集団進出口有限公司(以下、「澄星磷化工」といいます。)は江陰澄星実業集団有限公司グループ(澄高包装、澄星磷化工及び江陰澄星実業集団有限公司の3社を合わせて、以下、「澄星集団グループ」といいます。)に属する化学品製造会社です。

当社の連結子会社である澄蝶株式会社は澄高包装及び澄星磷化工に対して、各種化学品原料の販売を行なっていましたが、澄星集団グループは昨年初頭に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響を受けて主力の石油化学事業が低迷し、資金繰りが不安定な状況に陥り、澄星集団グループに対して有する売掛債権に回収遅延が生じたことから、2021年3月期第1四半期において売掛債権の50%相当を貸倒引当金繰入額に計上しました。

当社及び澄蝶株式会社は、売掛債権の回収遅延発生後速やかに売掛債権の支払訴訟(集合物譲渡担保の実行を含む)の提起など法的手続きを実行し、債権回収に注力しておりますが、2021年2月から3月にかけて、澄高包装及び澄星磷化工に対して中国の大手銀行より破産手続きの申し立てがなされ、裁判所が再建型の破産手続きとして受理しました。

2021年4月には、澄高包装及び澄星磷化工の再建型破産手続きに係る第一回債権者集会所が開催され、破産管財人から各社の資産状況等の報告がなされ、それらに基づき、各社の財政状態、取得済の集合物譲渡担保の見積価値や再建型破産手続きの進捗等を総合的に勘案した結果、2021年3月期第4四半期において、澄星集団グループに対して有する売掛債権全額の5,085百万円(45,934千USドルを2021年3月末日為替レート110.71円で換算)に相当する貸倒引当金を計上することに至りました。2021年3月期第3四半期時点において2,377百万円の貸倒引当金額を計上しており、当第4四半期における貸倒引当金繰入額の追加計上額は2,708百万円となります。

(2) 個別決算における貸倒引当金繰入額の追加計上

(1)に記載のとおり、2021年3月期第4四半期の連結決算において澄星集団グループに対する売掛債権に対して貸倒引当金繰入額の追加計上を行いました。この影響を受け、澄蝶株式会社の財政状態が悪化したため、2021年3月期第4四半期の個別決算において同社への貸付金に対して5,114百万円の貸倒引当金繰入額を計上しました。当該貸倒引当金繰入額は連結決算において消去されるため、これが連結損益に与える影響はありません。

以 上